

4月第2週から5月ゴールデンウィークまでの勉強方法

—東日本大震災下の過ごし方を考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：新学年の授業が始まりました。4月中旬からゴールデンウィークが終わる5月の初旬すぎまでの1か月間、どのように勉強したらよいか教えてください。

A：（林明夫。以下省略）御進学、御進級、本当におめでとうございます。開倫塾では、教科の内容はもちろんのこと、効果の上がる勉強方法を具体的にお伝えすることで、31年間、塾生の皆様の学力向上を目指してきました。

今年は、3月11日に東日本大震災という千年に一度の大災害がありましたので、学校は4月から新学年が始まったといっても、平常に戻るまではしばらくかかると思います。

教科の授業はいつもの年と同じように行われると思われそうですが、学校行事や部活動など教科の授業以外には大幅に縮小される学校が多いと予想されます。いつもの年の1学期とは違い、放課後や土曜・日曜日の部活動や学校での様々な活動が当分の間少なくなることが予想されます。

Q：帰宅がいつもの年よりも早くなるのが予想されるということですね。

A：はい。その通りです。そこで大切なのは、帰宅してから夜寝るまでどう過ごすかです。

私は、学校や開倫塾で勉強できる皆様には、大震災の被害にあわれた方々や大震災の支援を行っている方々、大震災の影響で仕事や生活が苦しくなっている方々を思い、今やるべきことは何かを真剣に考えてもらいたいと希望します。

このような時に、学校が早く終わったから、あるいは放課後や土曜・日曜日の部活動や学校行事などがないからといって、テレビやTVゲーム、マンガ、ケータイに夢中になることはできるだけ避けるべきと私は考えます。

私は、このような時にこそ、自分の未来を自分で切り開くために一所懸命に、つまり一つの所で命を懸(か)けるくらい熱心に勉強に励んでももらいたいと心から切望します。

Q：具体的にはどうしたらよいですか。

A：特に、受験生の皆様は、ゴールデンウィーク明けから6月にかけて行われる受験学年として最初の模擬試験で、希望校に合格できるだけの偏差値をはじめから、つまり第1回目から取るための勉強をするのがよいと考えます。

帰宅後は、夕食まで机に向かうこと。入浴や夕食を済ませたら、就寝の時間までまた勉強すること。土曜日や日曜日、ゴールデンウィークの休み中は朝から晩までひたすら机に向かうこと。受験生としての自覚を持ち、勉強、勉強、また、勉強の毎日を送ること。夜眠る時間以外は勉強すること。

このくらいの気概(きがい)で勉強すれば、1 か月間で自分の希望する学校に合格するだけの偏差値が必ず取れます。

受験勉強には、頭が良い、良くないは全く関係ありません。今までの成績も全く関係ありません。

よく勉強していないところは、素直な心になってよくわからないところまで遡(さかのぼ)って基礎から勉強し直すこと。

よくできるところは、難しい問題や内容に挑戦したり、先の学年まで進みに進むこと。勉強に遠慮は一切不要です。よくできる科目や分野は、小学生が中学生の、中学生が高校生の、高校生が大学生の勉強にどんどん挑戦することをお勧めします。

Q：そのような勉強を進める上で注意すべきことは何ですか。

A：勉強していてわからない「ことば」や「語句」が出てきたら、そのまま放っておかないこと。先に進まないこと。必ず辞書(国語辞典や英和辞典)を用いて「ことば」や「語句」の意味を調べ、ノートに記録しておくこと。辞書を使いこなせることは大事な能力です。その日に調べた「ことば」や「語句」の意味は、その日のうちに確実に覚えること。何も見ないで正確にスラスラ言えるまでにする。学校の教科書の書体(楷書)で正確に書けるようになるまで書き取り練習をすることです。

読み方がわからない漢字は、「漢和辞典」を用いて調べる。漢和辞典が使えるのも大切な能力です。

Q：辞書で調べてもわからない語句はどうすればよいのですか。

A：各科目の学年別の参考書を辞書代わりに活用することです。参考書を辞書代わりに使いこなすのも大切な能力です。

Q：最後に一言どうぞ。

A：この勉強の仕方は、来年の春に受験のない学年の塾生の皆様にも当てはまります。一日も早く自分の希望校に合格できるだけの偏差値を確保しましょう。

開倫塾の塾生の皆様をお願いしたいのは、新聞を毎日最初のページから最後のページまで、1 ページずつついでに読み、東日本大震災で何が起きているのかを知って頂きたいということです。参考になると思われる記事は、家族の方が読み終えた翌日以降に保護者の許可を頂いてからハサミで切り抜き、「スクラップブック」に貼って保存しておきましょう。自分で感じたことや考えたこともメモしておきましょうね。

その上で、今やるべきことは何か、これからやるべきことは何かを自分自身の力で考えて下さい。

まずはゴールデンウィークが終わるまでひたすら勉強をし、そして5月・6月に行われる模擬試験や学校の定期テストで十分な成績を自分の力で獲得することです。4月のこの時期から、全力を傾けて勉強をして下さい。

－ 2011年4月11日、大震災の1か月後、林明夫記－